

対エクアドル草の根・人間の安全保障無償資金協力

「マンタ市黄金の年高齢者福祉センター理学療法機材整備計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「マンタ市黄金の年高齢者福祉センター理学療法機材整備計画」のための、当館とマンタ市による贈与契約署名式が行なわれました。

供与額： 9,989,160円
贈与契約締結日： 2017年3月22日

2016年4月16日、同県北部を震源とするM7.8の大地震が発生し、人的被害は死者663人及び被災者231,120人の未曾有の自然災害となりました。同市における被災建物数は6,391戸に上り、被災者数は26,163人に上りました。本案件計画地域の同市タルキ自治区は本震災の震央に近く、最も甚大な被害を被った地域の一つです。本案件実施地となるマンタ市立「黄金の年高齢者福祉センター」は、震災前から建設が始まっており、2017年1月に完工しました。同自治区及び周辺自治区には理学療法を必要とする多くの高齢者・障害者が存在する一方、同市中心部には同市営福祉協議会が1ヶ所存在するのみで、需要に対応出来ていません。加えて、震災時の建造物の倒壊・道路の損傷等による負傷者400人が新たに同療法を必要としており、需要を更に逼迫させています。

本計画は、前述の地区において、新規操業する黄金の年高齢者福祉センターに理学療法機材を整備し、地域高齢者・障害者及び震災負傷者向けの福祉環境の向上に貢献しようとするものです。

計画実施前

